

農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

 タイトル 営農経済渉外(TAC)の農業融資の取組み JA名 あさか野（埼玉県）

| | |
|------------------------|--|
| 1 動機 (経緯) | ○ 次世代への営農活動の円滑な継続を行うため、農業メインバンク機能の強化を重点取組項目と位置づけ、融資業務に対応できる営農経済渉外（TAC）を育成するとともに金融面でのサポートが必要となります。 |
| 2 概要 | ○ JA独自資金であるJA農業資金（担い手応援・制度資金）のPRにより利用度の向上を図っています。 ・ 金利年0.6%、無担保、融資額1,000万円まで。 ○ 平成26年9月よりTAC担当者を増員（4名→9名）するとともに、211先の重点推進先を設定して四半期に1度以上の訪問を義務付けることにより、農業融資のPRによる資金需要の発掘に取り組んでいます。 ○ TACミーティングに担い手リーダー（融資課長）が毎月参加し、情報の共有化を図っています。 ○ 訪問実績について検証を行い、次回の活動につなげるべく協議・実践しています。 |
| 3 成果 (効果) | ○ 組合員の営農経営について内容を理解できるようになりました。 ○ 組合員の抱える問題点、JAへの要望等について聞き取りができるようになりました。 ○ 認定農業者制度の理解を深めメリットを組合員に伝え、相談できる提案が行えるようになりました。 ○ 平成27年度農業資金実行実績 15件 84,230千円 |
| 4 今後の予定 (課題) | ○ 引き続き継続訪問を実施し、常に農業資金のPRをしていくことで更なる利用者の拡大を図ります。 ○ 行政と連携した認定農業者の増加を図ることが必要と考えます。 ○ 農業資金利用者だけではなく、営農・経営相談まで幅広く相談活動ができるTACの育成が必要と考えます。 |